

東京設計管理研究会 2009年度 総会開催のご案内

東京設計管理研究会
2009.11.13

2009年度 総会を下記の通り開催いたしますので、
ご多忙中とは存じますが、ご出席いただきたくご案内申し上げます。
なお、総会への出欠(別紙4/5)の連絡を、
11月27日(金)までに事務局へFAX/メールにてご連絡をいただけますよう、
よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 時：2009年 12月 2日(水) 14:00～17:00
総会と特別講演が開催されます

2. 会 場：コマツ本社(株式会社小松製作所)様 第1・2会議室
住 所：東京都港区赤坂二丁目3番6号(コマツビル)
：TEL 03 - 5561 - 2827 案内図参照

3. 2009年度総会 (式次第) 14:00～15:00

(1) 開会の辞	司会
(2) 議長選出	同上
(3) 総会成立確認	議長
(4) 審議事項	
2009年度事業報告	西山副会長
2009年度会計報告	加藤会計幹事
2009年度会計監査報告	窪田会計監査
2010年度活動方針と事業計画(案)について	工藤会長
2010年度予算(案)について	加藤会計幹事
役員選出	議長
新役員紹介	新会長
(5) 功労者表彰	新会長
(6) 閉会の辞	議長

。

問合せ先(TEAC総会事務局)

(休憩 15:00~15:15)

4. 特別講演 15:15~17:00

講演者 : 埼玉大学 名誉教授
大滝 英征 様

講演題目 : 『 日本企業の生きる道 』

講演概要 : 別紙参照

5. 懇親会(会費制) 17:15~19:30

特別講演終了後、懇親会を行います。

・立食パーティ ・福引 ・その他イベント

懇親会費:

3,000円 / 1名

ご参加お待ちしております。

会費は当日受付にて徴収させていただきます。

懇親会ご参加申し込みも添付参加表に記載願います。

問合せ先(TEAC総会事務局)

日本企業の生きる道

大滝英征

中国での製品に対するアーキテクチャー（すり合わせ型技術と寄せ集め型技術）の換骨奪胎について、前回の研究会で事例を紹介した。例えば、乗用車は部品設計をきめ細かく相互調整し、製品ごとに部品やその接合部〔インターフェイス〕を最適設計しないと製品全体の性能（乗り心地や振動騒音防止、衝突安全性など）が達成できない。寄せ集め型といっても擦り合わせ型技術であった。親会社から子会社、孫会社までピラミッド構造をした企業形態であった時代には、技術（ノウハウ）はそのピラミッド構造の中で保存され外部へ流出することはなかった。しかし、バブル期に、安い労働力を求めて生産を海外移転した。これに伴って、ピラミッド構造が崩れ、寄せ集め型技術の中に存在した擦り合わせ技術も流出してしまった。このようになると、寄せ集め技術に優れた中国にかなうわけがない。2003年の自動車政策の転換に伴い、雨後のタケノコのように自動車会社が設立された。現在では、これらの自動車会社が世界経済に大影響を与えるまでに至っている（典型的な「擦り合わせ（インテグラル）型」製品である乗用車を「オープンモジュラー型」製品に転換させてしまった）。

そして、寄せ集めに近い（オープンモジュラー）型の製品に転換させる（低価格の基本的スタンス）というアーキテクチャーの換骨脱退の波が乗用車以外にも及んできている。その主たるものは、移動、通信、エネルギー等のインフラに関わる技術である。すでに、高速道路、太陽光発電、衛星通信等は中国国内隅々にまで行きわたっている。このインフラ技術に付随した製品【家電製品、携帯電話など】も行き渡ってきている。

このようになると、先発企業の常識を覆すようなチャレンジングなモノづくり、いわゆる「破壊的技術」が現れ始めてもいる。小型の電気自動車を製作し農村部でも、太陽光発電による電力で走行させる等。この電気自動車もヨーロッパで販売を始めるという。このような事例も今回紹介する。

しかし、彼らの向かう先はアジア、アフリカであることは必定である。華僑、新華僑のすさまじい勢力拡大により東南アジア、アフリカ、オーストラリアにおいて経済的には中国支配の様相を呈している。中国語は何処でも通じる状況になっている。東アジアには様々な産業で複数の地域・企業が役割分担しながらモノをつくる「チームアジア」とも言うべき分業体制もできあがっている。チームアジアが貿易で得たマネーが米国に流れ込む。米国の景気を下支えする。米国と東アジアは相互依存を深めている。米中が世界を共同で主導する体制G2構想がある。これは、結果的に米国と中国の2極を指すことになる。世俗では言われる。日本が製造装置や素材を作る。韓国が電子デバイスを生産。中国で組み立てる。韓国・台湾の部品メーカーが中国で事業を拡大すれば効果は東アジア全体に広がる。結果的に日本は生産材供給国になる。

このような状況を踏まえ、一步先を見つめないと、日本が立ち遅れる可能性は極めて高い。日本が生き延びるための技術開発分野、その在り方について私なりの考えを述べる。

出欠連絡

出欠については、必ず11月27日(金)までに
事務局までFAX・メールで、ご連絡下さい。
総会欠席の場合は、委任状の提出をお願いいたします。

東京設計管理研究会

東京設計管理研究会

総会事務局 毛利(富士ゼロックス) 行

2009.11.13

FAX 03-5352-7099 (ご注意・今回の総会専用になっています。)

2009年度総会 / 特別講演(12月2日)に

(出席・欠席) します。(いずれかに を付けて下さい)

(欠席の場合は委任状に氏名をご記入の上、押印してください)

会員会社名

氏名

【委任状】

私儀、総会議長を代理人と定め、総会の議決権を行使する一切の権限を委任いたします。

住 所

会員会社名

会員氏名

印

ご出席される方へ、

お名前のご記入と出席項目へ 印つけてください。

=出席 ×=欠席

	総会	特別講演	懇親会
1. 氏名			
2. 氏名			
3. 氏名			

東京設計管理研究会
2009年度
例会/総会
会場のご案内

< 会場案内地図 > 当日連絡先：03-5561-2827
(エンジン事業本部 企画室 西山様)

本社



〒107-8414
東京都港区赤坂2-3-6
03-5561-2616 (コーポレートコミュニケーション部 広報グループ)

東京メトロ南北線・銀座線
溜池山王駅(9番出口)より徒歩0分